

神奈川近代文学館開館40周年

2024年3月30日(土) — 6月2日(日)

開館時間 9時30分〜17時(入館は16時30分まで)
休館日 月曜日(4月29日)、5月6日は開館)



写真提供・新潮社

帰って来た橋本治展

観覧料 一般700円(500円)、65歳以上・20歳未満及び学生350円(250円)、
高校生100円(100円)、中学生以下は無料*()内は20名以上の団体料金

編集委員=松家仁之 主催=県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会 後援=**NHK**横浜放送局、**FMヨコハマ**、**神奈川新聞社**、**tvk**
協賛=新潮社、中央公論新社、京急電鉄、相模鉄道、東急電鉄、横浜高速鉄道、神奈川近代文学館を支援する会 広報協力=**KAAT** 神奈川芸術劇場

横浜・山手 港の見える丘公園内

県立神奈川近代文学館

Kanagawa Museum of Modern Literature

帰って来た橋本治展

平成の時代とともにその生涯を終えた橋本治が、令和6年春、横浜に帰って来ます——

橋本治(1948～2019)は、1977年に高校生の日常を描いた「桃尻娘」で小説家としてデビューし、それまでにないスタイルと内容で世間に衝撃を与えました。すでにイラストレーターとして活躍していた橋本は、以後、小説執筆と併行して、恋愛や性、家族、時代を論じ、舞台やイベントを演出し、セーターの編み方を教え、古典をひもとくなど、八面六臂の活躍を繰り広げました。どんな未知の分野にもひるまず分け入った橋本の原動力は「わからない」ことを解明したいという思いだったといいます。その成果は膨大な数の著作となって、我々に大きな恵みをもたらし続けています。

当館は、2019年以降、橋本治の直筆原稿をはじめとする資料をご家族、ご関係の方々から寄贈いただき(橋本治文庫)として保存しています。本展は、時代を先取りし、さらに、人間と人間の生きた時代を描きだそうとした橋本の生涯を、所蔵資料を中心にたどります。

「桃尻娘」シリーズの最終章は、当館のある港の見える丘公園で、未来への希望を示唆して締めくくられます。この地で、帰って来た橋本治の新たな一面に触れていただければ幸いです。



第19回駒場祭ポスター原画

1968年11月23、24日開催
東京大学2年の時に描いた学園祭のポスター。東大闘争のさなか併映映画を彷彿とさせる印象的なデザインが大きな注目を浴び、「とめてくれるなのおっかさん」のキャッチコピーとともに橋本治の名を一躍全国区とした。当館蔵・橋本治文庫

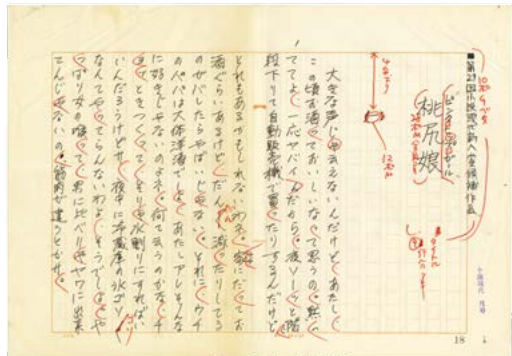


カーディガン「花見幕」 学生時代から編み物を得意とし、編み方指南の本も刊行している。1984年には「楽しいニット」と題したファッションショーを開催した。当館蔵・橋本治文庫

本展会期中～6月のイベント ※詳細はホームページ等で確認ください。

- ・④以外是要事前申込。お電話(045-622-6666)またはホームページの申込フォームで、お名前・電話番号・希望日・人数をお知らせください。料金は当日のお支払い、先着順で定員になり次第締め切ります。
- ・会場:④以外=展示館2階ホール、④=展示館1階エントランスホール

- ①橋本展記念講演と対談「冗談と真情と」 4月20日(土)14:00～
講師:松家仁之(作家、本展編集委員)、対談出演:柴岡美恵子(橋本治妹)
料金:一般1,200円(友の会会員1,000円)
- ②橋本展記念講演会「橋本治という時代」 5月3日(金・祝)14:00～
講師:橋本大三郎(社会学者) 料金:一般1,000円(友の会会員800円)
- ③記録映像上映会「豪華本『マルメロ草紙』はこうして生まれた」 5月25日(土)13:30～
2024年 テレビマンユニオン カラー 80分
企画:刈部謙一 撮影・構成・編集:浦谷年良 映像出演:橋本治、岡田嘉夫ほか
アフタートーク出演:浦谷年良、松家仁之 料金:一般1,200円(友の会会員1,000円)
- ④橋本展スライドトーク(職員による展示説明) 会期中の毎週金曜日(5月3日を除く)14:00～
無料(要展示観覧料)・申込不要
- ⑤開館40周年記念企画「文学・どこへゆくのか」第II期「作家が受け継ぐもの」 各日14:00～
聞き手・ナビゲーター:湯川豊(文芸評論家)、尾崎真理子(文芸評論家)
[1]辻原登 4月7日(日) [2]池澤夏樹 4月27日(土) [3]小川洋子 5月18日(土)
[4]平野啓一郎 6月16日(日) 料金:各回一般1,200円(友の会会員1,000円)



「桃尻娘」原稿 第29回「小説現代」新人賞佳作として、「Gen」1977年12月号に掲載。桃尻娘、無花果少年、瓜壳小僧、温州蜜柑姫の狼狽なニックネームを持った普通の高校生4人を主人公にシリーズ化。彼女らの成長を深い愛着を持って見守りながら、1990年まで大切に書き継いだ青春小説。講談社蔵

次回展示 2024年6月8日(土)～8月4日(日)

企画展「没後15年 庄野潤三展

——生きていることは、やっぱり懐かしいことだな!」

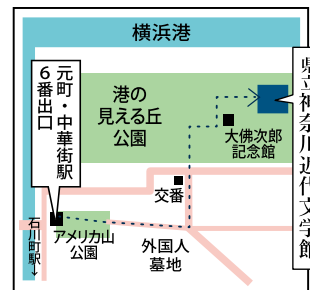
同時開催:常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち 第1部 夏目漱石から萩原朔太郎まで」

ACCESS

※駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。

〈東急東横線直通・みなとみらい線〉
元町・中華街駅下車 6番出口(アメリカ山公園口)から徒歩10分
〈バス〉

- ・神奈川中央交通バス⑩系:桜木町駅～保土ヶ谷駅
 - ・横浜市営バス②⑩系:桜木町駅～山手駅
 - ・観光スポット周遊バス「あかいくつ」
- いずれも「港の見える丘公園前」下車、徒歩3分
〈JR根岸線〉
石川町駅下車 元町口(南口)から徒歩20分



新潮社 橋本治の本



もう少し
浄瑠璃を読もう
最高の案内人と精読する8作



草薙の剣 [野間文芸賞]
作家デビュー40周年記念作品



巡礼
孤独な魂を抱きとめる傑作長篇

『浄瑠璃を読もう』『三島由紀夫』とはなにものだったのか!も好評発売中!

中公文庫 橋本治の本

◎表示価格には税(10%)を含みます

「夢のような愚かさを書いてみたい」谷崎潤一郎文学をオマージュした快作時代小説 ●770円

「金色夜叉」を平成に甦らせた、橋本治最後の長篇小説 ●990円

お春
「夢のような愚かさを書いてみたい」谷崎潤一郎文学をオマージュした快作時代小説 ●770円

源氏供養
橋本治
●各1430円

源氏供養 (上・下) 新版
天才女性作家・紫式部の思考に迫るスリリングなエッセイ

座談会・三田村雅子他 ●各1430円